

暮らしつづげたい 訪れたい みどりのまち 宇都宮



宇都宮市

緑のまちづくりには 皆様の力が必要です

市民

- ・緑を楽しむ生活に取り入れる
- ・暮らしの中で庭木を植えたり花を育てる等

活動団体

- ・専門分野を活かして緑地保全・緑化に取り組む
- ・幅広い市民に発信する等

持続可能で効果的な パートナーシップの実現

民間事業者

- ・アイデア、資金、技術等を提供する
- ・まちの一員として、取組に参加する等

行政

- ・緑の取組を計画的に実施・改善する
- ・様々な主体の連携を支援する等

編集・発行
宇都宮市 都市整備部 景観みどり課
〒320-8540 宇都宮市旭1丁目1番5号
Tel 028-632-2698 Fax 028-632-5219
E-mail u55002100@city.utsunomiya.tochigi.jp

市の緑の基本計画のH.P.につながるQRコードなど

緑にはどんな役割があるの？

まちの魅力を高め
賑わいを生む



暮らしに憩いとうるおい
を与え安全安心を守る



地域の暮らしを支え
独自の景観をつくりだす



歴史をものがたり
誇りと愛着を育む



生物多様性や
生態系サービスを育む



人とみどり
人と人をつなぐ



緑には、地域振興、環境保全、景観形成、防災・減災など、みなさんの暮らしを守ったり、より豊かにしたりする機能があります。緑の機能を理解し、適切に使っていくことで、様々な地域の課題を解決し、持続的で魅力あるまちづくりに貢献することができます。

宇都宮の緑はどうなっているの？

宇都宮市全体の緑被率（樹林地や農地、地被類などの緑被面積が市域に占める割合）は**67.0%**となっています。

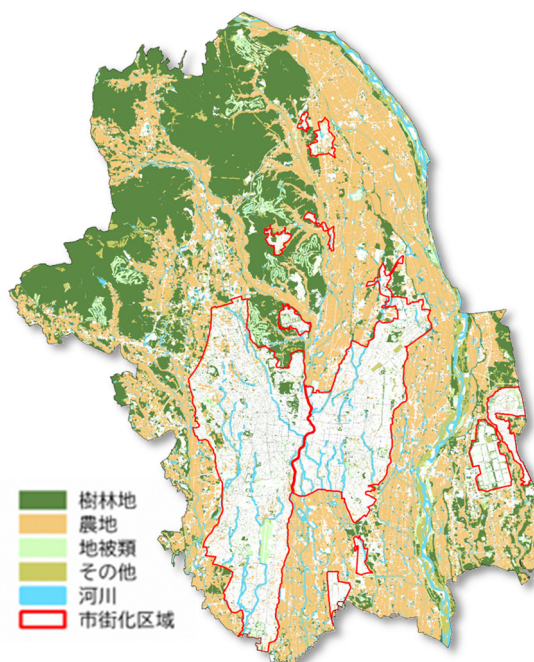
中心市街地の緑被率は**15.2%**となっており、八幡山公園や二荒山神社、宇都宮城址公園などのまとまった緑はありますが、まちなかの人の目に映る緑が少ない（緑視率*が低い）状況です。

*緑視率とは？

緑視率とは、目に映る緑の量が一定範囲内に占める割合のこと。



画像中の樹木、壁面緑化、芝生などの緑を着色し、その割合を算出します。



緑被現況図（令和2年度時点）

こんな緑の取組をしています

高校生がまちなかに育てたお花を設置しています！



市民団体が子どもたちの自然環境学習を支援しています！



公園愛護会の皆さんが公園の保全美化活動を行っています！



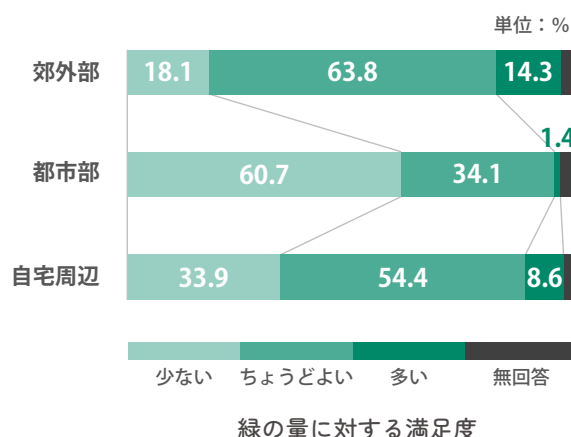
地域のリーダー育成に向けて緑化ボランティア養成講座を開催しています！



みんなは宇都宮の緑をどう思っているの？

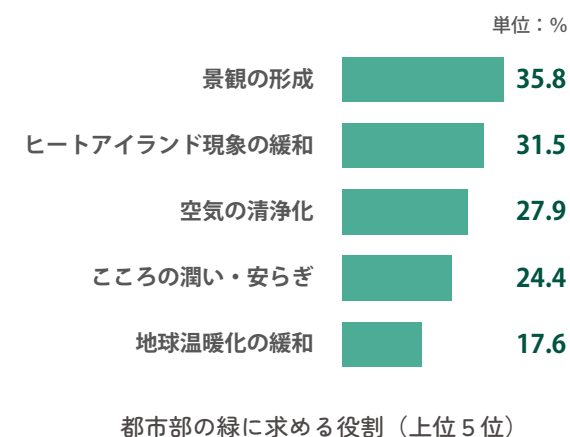
※市民アンケート調査：令和3（2021）年1月13日～2月3日

現在の緑の量への満足度について、郊外部、自宅周辺いずれも「ちょうどよい」と感じる人が最も多く、都市部では「少ない」と感じる人が最も多くなっています。



緑の量に対する満足度

都市部の緑に求める役割として、「景観の形成」、「ヒートアイランド現象緩和」、「空気の清浄化」、「こころの潤い・安らぎ」に対する回答が特に多くなっています。



都市部の緑に求める役割（上位5位）

一緒に緑の取組をはじめませんか？

宇都宮市花と緑のまちづくり推進協議会



ハンギングバスケットづくりのイベントを行っています！

市民・事業者・行政のパートナーシップのもと、自主的活動を通して花と緑に包まれた潤いのある美しいまちづくりに取り組む団体です。花いっぱい取組や良質な緑を創出する緑化推進事業のほか、緑化の普及啓発活動等を実施しています。

QR
コード

公益財団法人 グリーントラストうつのみや



樹林地の保全活動を行っています！

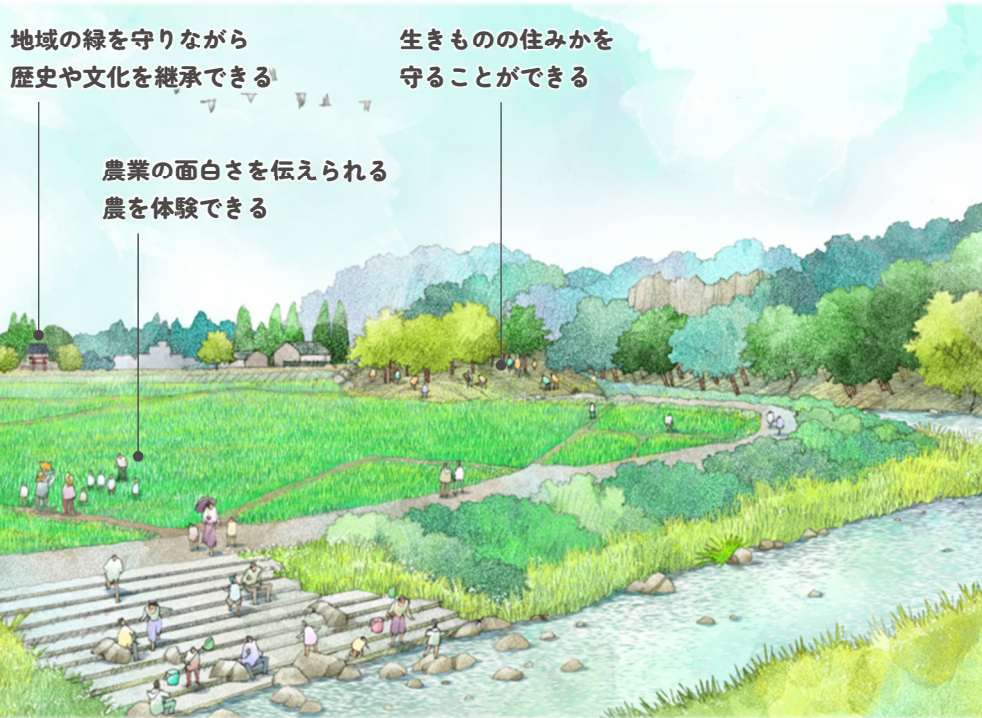
まちなかやその周辺の身近な緑を次の世代に残し守るための活動に取り組む団体です。樹林地の保全活動のほか、樹林地を活用した観察会や自然体験活動などの体験イベント、写真コンテストなどの普及啓発事業を実施しています。

QR
コード

暮らしつづげたい 訪れたい みどりのまち 宇都宮

緑のまちづくりを進めるうえで、みなさんと共に取り組んでいきたい大きな3つの行動があります。

1 宇都宮市を形づくる みどりを継承する



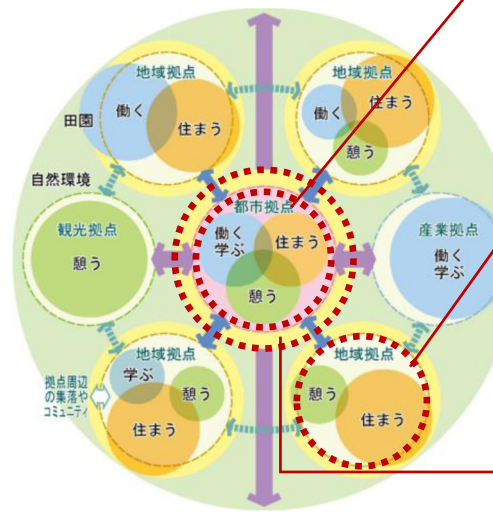
2 質の高いみどりを増やし まちの魅力につなげる



3 みどりを楽しみ 愛着を育む



宇都宮の各地の魅力、緑によって高めていくため、場所ごとに重点的に取り組むプロジェクトを展開していきます。



ネットワーク型コンパクトシティの概念図

まちなかのプロジェクト

みどりによる 中心市街地の 魅力向上



イベントやまちづくり活動等の機会を通じた緑の創出



市街地内を流れる河川を身近な親水空間として活用



緑を活用した滞在空間での交流促進

各地域の公園のプロジェクト

地域特性と ニーズに応じた 公園機能の充実



インクルーシブ遊具や健康遊具など、誰もが楽しめる公園づくり



市民協働による公園づくり



Park-PFI制度などの民間活力の導入による公園の魅力向上

市街地や各地域を取り囲む周辺部のプロジェクト

みどりとの ふれあいの場 としての 樹林地・農地



様々な人や団体など、多様な主体による樹林地の保全・管理



生きものの生息・生育環境の保全と自然環境学習の場づくり



イベント等を通じた樹林地や農地の魅力発信